

しなないないはあ

- 平成 28 年 春号 -

● 発行元 ●

日本赤十字社富山県支部受託
富山県立乳児院
富山市牛島本町2丁目1番38号
電話 076-432-8137
FAX 076-432-8238

みんなの思い出



3月1日、戸外は早朝からの雪景色になりましたが、乳児院では楽しみにしていた、おひなさまの集いをしました。富山市女性ボランティアさん5名に参加いただきました。

主役の女の子たちは、髪飾りをつけ、着物を着せてもらって嬉しそうに、男の子たちは、少しおしゃれをして準備完了です。

集いでは、遊戯室のひな壇の前で「うれしいひなまつり」を合唱したり、桜餅を食べました。初めて桜餅を食べた子も、全員美味しく桜の葉も食べてしまいました。その後、ボランティアさんと一緒に自分の顔がついた紙の雛人形を作って飾りました。自分の飾ったひな人形を指さして嬉しそうな子もいました。ボランティアさんとの交流では、人見知りをして泣く子もいて心配でしたが、心配が吹き飛ぶほどにみんな元気で、初対面で駆け寄ったり、自分から膝に座る子など様々でした。

楽しい時間はあっという間に過ぎました。ボランティアさんいつもありがとうございます。子ども達も元気にバイバイできました。

これからの行事

5月

春の遠足



新しいリュックを背負って出かけます。今年の行き先はどこかな・・・楽しみです。

7月

たなばた

短冊に今年はどんなお願い事かこうかな！



防災訓練

二〇一六年四月十四日二十一時二十六分以降に熊本県と大分県で相次いで発生している地震は、「平成二十八年熊本地震」と命名されました。一ヶ月を経過してもいまだに余震が続いており、被害にあわれた皆様には衷心よりお見舞い申しあげます。

自然災害は予測の範囲を超えて発生します。また火災などもしっかりです。

当院は、おおむね二歳までの乳幼児をお預かりしています。こどもたちの安全を守るためには、私たち職員が迅速かつ適格な行動をとることが重要です。そのためには日頃からの訓練が有効と考え、毎月一回、防火避難訓練や水害や地震を想定した防

災避難訓練を実施しています。

三月二十八日には、消防署職員に立ち会っていただき、昼の時間帯に施設内から火災が発生した想定で避難訓練を行いました。毎回参加しているこどもたちは、状況の判断ができるのか避難誘導に従ってくれます。しかし、中には職員の迫真の動きに驚いて泣き出す子もいました。

消防署職員の方からは、「緊急時には訓練以上のことはできないため、日頃からの訓練こそ大切」「訓練の状況はおおむね良好」との評価をいただきました。

今後も訓練を重ね、安全行動がとれるように努めていきたいと思えます。



「お祭りわっしょい！」

四月二十二日は、乳児院の春祭りでした。「わっしょい！わっしょい！」院内に可愛い声が響き渡ります。アンパンマンやたくさんさんの花で飾られた職員手作りのお神輿を、廊下を道に見立てて子どもたちが引き回しました。お神輿の一行は事務室でご褒美のおやつやジュースをもらって食堂でのおやつタイムです。初めて食べるラムネ菓子のシュワシュワした食感や味に、少し驚きながらもニコニコで食べていました。

おやつのはお祭り広場に移動してお面や輪投げ、くじ引きやおさかなつりなど楽しい遊びがいっぱい。中でもミニS.Lコーナーは人気で、運転席にちよこんと座って、コーナーを二周しました。まだまだたくさん遊びたかったみんなの笑顔がいっぱい咲いた春祭りでした。



心からの「寄付ありがとうございました。」

1月

- 渡部 啓司・恭子さん（愛媛県）
- 田中 寛子さん（東京都）
- 奥田 佐保さん（奈良県）
- 田村 あいさん（神奈川県）
- 矢野 高行さん（東京都）
- 山本 りえさん（岐阜県）
- 中村 裕子さん（東京都）
- 柵 朋美さん（富山県）



2月

- 野村 幸代さん（富山県）
- 中村 章子さん（富山県）
- 奥島 みかさん（福井県）
- 岡野 憲一・三恵子さん（神奈川県）
- 山崎 智恵美さん（新潟県）
- 新庄幼稚園さん（富山県）
- 岡野さん（東京都）
- 渡部 啓司・恭子さん（愛媛県）
- 杉浦 佳子さん（神奈川県）
- 佐藤 三衣子さん（神奈川県）
- 島崎 幹雄さん（大阪府）
- 株式会社 富山技販
- 代表取締役 松井 勝馬さん（富山県）
- 金光 麻衣さん（埼玉県）
- 栗田 英子さん（富山県）



3月

- 栗田 英子さん（富山県）
- 4月
- 富山大学人間発達科学部久保田 真功さん
- ホットトットクラブ 京井 克幸さん
- 5月
- 富山県医師信用組合さん
- 6月
- 富山大学人間発達科学部久保田 真功さん
- ホットトットクラブ 京井 克幸さん
- 7月
- 富山県医師信用組合さん
- 9月
- 一般社団法人 浅田慈善園さん
- 12月
- 富山大学人間発達科学部久保田 真功さん
- ホットトットクラブ 京井 克幸さん
- 1月
- 本間 一正さん

富山県

日本赤十字社富山県支部受付



「家庭がはぐくむ笑顔」

富山県では約八十組のご家族が里親登録されています。

日頃知ることのできない里親家庭の子育てや思いを、里親さんの言葉で記していただきました。

●その十一

Aちゃんを迎え入れ、夫と三人の生活になりました。家の中には、にぎやかな会話や笑い声が常に響いて活気ある毎日です。最近では、家の中のことも率先してやってくれ、私たちは「Aちゃんはこの家の大事な家族の一員なんだよ」と思いを込めて「ありがとー」「Aちゃんのおかげだよ」と気持ちをしつかり言葉にして伝えるようにしています。

私達は、両親はじめ周囲の方々から沢山の愛情や温かい心をもらい幸せに生きてきました。「心」の器が愛情で溢れ出るくらい満たされています。恩返しという気持ちもあり夫婦で里親登録しました。ところが実際には愛情を与えてあげるところか、Aちゃんから愛情をもらい、私たち夫婦を「家族」という絆で結びつけてくれます。そして今も、私たちの愛情を引き出してきています。

何年かすれば、Aちゃんも社会に出ていきます。仕事を持ち、自立した生活を送るでしょう。そんな中でも、困ったり、悩んだり、疲れたり

したとき、いつでも我が家で休んでいってくれればと思います。頑張った疲れを休め、心を落ち着けて、また前向きに歩きだしてくれたいですね。陰ながら見守って、応援し続けていくつもりです。そしていつかAちゃん自身の家族を築き上げていって欲しいです。

私たちは「里親制度」のおかげで、この縁に巡り合い「家族」になれました。里親制度に関心を持っていただき、理解して下さる方が増えれば嬉しいです。



富山県立乳児院病児保育室『おひさま』は体調不良のお子様をお父さんお母さんに代わって、家庭的な雰囲気の中で保育します。

～富山県立乳児院 “病児保育室『おひさま』だより”～



「元気にな～れ!!!」

新緑が鮮やかでとても心地よい季節となりました。しかしながら、初めての集団生活で体調を崩されるお子さんが多くなるのもこの時期の特徴です。「おひさま」を利用する子ども達は、風邪や気管支炎、おたふくかぜや感染性胃腸炎等、病名は様々ですが、十分な休養が必要です。お休みの日のお出かけも楽しいですが、生活リズムがつくまではおうちでゆっくり過ごすことも大切ですね。



スタッフ日誌より

- 赤ちゃんの頃から「おひさま」を利用されていたMちゃんが、小学1年生になりました。入学式の後、Mちゃんとお両親が私達を訪問してくださいました。少し大きなランドセルを背負い、晴れ晴れとしたMちゃんの姿にスタッフ一同、感慨深い気持ちになりました。
- この春「おひさま」を卒業された子ども達の、更なる成長をお祈り申し上げます。
- 今年度もお子さんの気持ちに寄り添いながら、楽しく安心して預けていただける病児室を、心掛けていきたいと思ひます。

ご利用の際は、ご連絡ください。076-432-8137

※夜間のため23～5時までは、予約のお電話をご遠慮ください。

●利用時間 7時30分～18時

☆乳児院の理念☆ 児童福祉法及び児童憲章に基づき、安全で安心できる良質な生活の場を提供します。